

広

わじとび

コミセンわじろが広げたい
トピック情報を紹介

誰でも平等に参加できる競技「10m10秒」 スマイルスポーツフェスティバル

11月に「スマイルスポーツフェスティバル2022」を
コミセンわじろで開催します。3年前に開催され、福岡
市内から多くの方が参加されました。世代や条件に関係
なく、誰でも参加できる新しいスポーツ競技で、10mを
一番10秒に近いタイムでゴールした人が勝利となる
「10m10s(10メートル10秒)」で競います。

福岡市内にある「地域交流センター」3館の共催イベ
ントになっています。優勝チームには豪華賞品も！ぜひ
家族や友人、職場のスタッフでエントリーしてみてください。
あなたの時間感覚を研ぎ澄まし、優勝を目指しま
しょう！

スマイルスポーツフェスティバル2022 詳細

【日時】2022年11月6日(日) 8:45～13:00

【参加費】無料

【定員】4人1チームで20チーム(80名)

【賞品】上位3位まで賞状と副賞あり。特別賞や参加賞あり

【お問合せ】☎092-608-8480



接

わじくみ

コミセンわじろが
接点を生み出す
取り組み

機械が新しくなりました トレーニングルームの測定会

6月より測定器InBodyをリニューアルしました。今
回はトレーニングルームで行っているInBody 測定会
の2つのポイントをお届けします。

1つ目は、InBodyは高い精度で身体を測定します。具
体的には、身体を構成する基本成分である水分・タンパ
ク質・ミネラル・体脂肪を分析し、栄養状態に問題がない
か、身体はバランスよく発達しているかなど評価します。
手軽に体重・体脂肪率・筋肉量を測定することができます。
2つ目は、測定会開催日です。休館日の翌日・翌々日の
2日間行っています。測定会では身体の詳細な情報
(体水分量、ミネラル量、部位別の筋肉量や体脂肪量など)
を印刷し、指導員がカウンセリングを行うこともできま
す。健康のため、ご自身の身体を測定してみましょう。

【測定会についてのお問合せ】☎092-608-8480



コミセンわじろ
WAJIRO Regional Community Center

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX:092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <https://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



公式HP



facebook



WAJICO

「残す景色」と「新しい景色」がかさなる情報誌【ワジコ】

38

September.2022
Autumn

Contents

わじろぐ 大嶽神社

わじじん 稲葉 勝祥 (和白公民館前館長)

わじかつ 立花山登山

わじとび スマイルスポーツフェスティバル

わじくみ トレーニングルームの測定会



わじろぐ

わじろで残したい情景を
ログする(記録する)コーナー



1800年の歴史。地域から親しまれている神社

大嶽神社

西戸崎の大岳にある「大嶽神社(おおたけじんじゃ)」は、2020年に企業の方をはじめ、地域の皆さんが資金を集め、本殿の建て替えが行われました。それまでの本殿は、赤い本殿でしたが、建て替えを機に、元々の「風の神」を祀っている本殿ということで、木を基調とした綺麗な本殿に建て変わりました。100段を超える長い階段を上がると空気が一変し、神聖な空間となります。この急な階段は、地元の学生がトレーニングで使っているそうです。そんな地元の方から親しまれている「大嶽神社」の歴史を取材しました。

「大嶽神社」は、志賀島にある志賀海神社の境外摂社に当たる神社です。ここでは、約1800年前に神功皇后の家来として活躍した「大浜宿禰(おおはまのすくね)」が祀られています。同じく家来の「小浜宿禰(こはまのすくね)」は、海の中道を挟んで、反対側にある「小嶽神社(こ

たけじんじゃ)」に祀られており、この大嶽神社と小嶽神社は、古墳の上に建っていると言われています。実際に本殿の周辺には大きな岩をいくつも見つけられました。他にも、風の神とされている「志那都比古神(しなつひこのかみ)」、「志那津比売神(しなつひめのかみ)」が祀られています。このお二方の神様は、いにしえから人々が漁に出る際に、ここから風を見ていたと言われています。その伝承が伝わるのが毎年11月8日に開催される「鞠祭(ふいごさい)」です。

元禄の頃には、世間で稲荷信仰が流行したことで、大嶽神社でも伏見稲荷大社より勧請し、商売繁盛として「保食神(うけもちのかみ)」が祀られることになりました。そのため、神社では狛犬ではなく狛狐が座っています。近年では、家にある狐様を持ってきて置いていく方もいるそうです。稲荷信仰にて、毎年初午の時期にその年の還暦の方と厄年を迎える40歳の方が集まり、「初午大祭」が行われ、この年齢のときは、外に働きに出ていた方も戻ってくるなど、長年続く習わしとなっています。街中で会った際は、お互いの近況を伝えるなど、つながりになっているそうです。再会の縁も結ぶなど、多くの方の想いがかさなり、地域に親しまれる神社となっています。



【お問合せ】092-603-0671(志賀海神社)

※表紙の写真は、神社の入口の様子



わじじん

地域の優れた取り組みを紹介する人

地域の人が集う公民館の緑を守る 稲葉 勝祥 (和白公民館前館長)

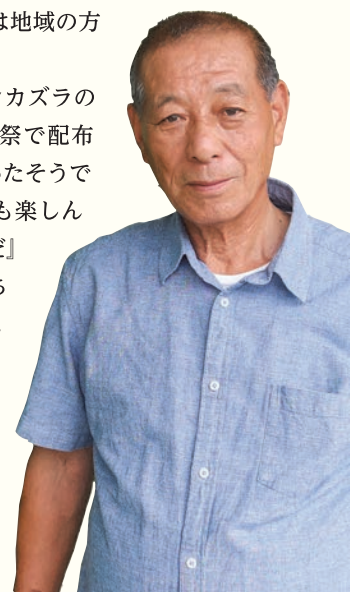
今年の3月で和白公民館の館長を退任された稲葉さん。館長である当時から公民館の植栽やグリーンカーテンのお世話をしています。過去に3回福岡市のグリーンカーテンコンテストで「一人一花賞」を受賞しました。公民館を辞めてもなお、公民館の植栽の手伝いを続ける稲葉勝祥さんにお話を伺いました。

「グリーンカーテンは、福岡市からの推奨でスタートし、福岡市内の多くの施設でグリーンカーテンの活動が動きました。植栽の知識に関してはほぼ自己流ではありますが、地域の方に教えていただいたり、花の苗を譲って



もらったりと、多くの方に協力していただいています。今年のグリーンカーテンは、朝顔をプランターに50本ほど植えています。伸びたツルの上を切っていくことでツルが広がっていき、綺麗なグリーンカーテンが完成します。特に7月8月は気温が高いため、水やりは1日2回。朝6時頃と夕方5時頃に毎日欠かさず行っています。できた種などは地域の方に向けて配っています。」

実際に朝顔の種やフウセンカズラの種を11月に開催される文化祭で配布し、多くの方に喜んでいただいたそうです。公民館に来た人に少しでも楽しんでほしい、『きれいなところだ』と思っしてほしい、という気持ちが入力の原動力だそうです。地域の方への想いが綺麗な緑を生み出し、公民館に来られる皆さんを喜ばせています。



【お問合せ】092-606-3001(和白公民館)



わじかつ

わじろで継続的に活動している団体を紹介

校区の垣根を越えて、頂上の爽快感の共有イベント 立花山登山

和白・奈多・三苫の3校区自治協議会合同で毎年行われている立花山登山について、和白と奈多の体育協会の豊丹生さんと三浦さんにお話を伺いました。

Q. 活動の内容を教えてください

A. 毎年11月3日の文化の日に、和白公民館に集合してまずは立花山の登山口の六所神社まで歩きます。その後頂上を目指し約30分ほど登山。頂上ではアイランドシティを遠くまで見渡すことができ、爽快感が味わえることが魅力です。立花山は地元でも親しまれている山で、参加者は子どもから大人まで幅広く、多い時で100名を超えていました。特に小学生は、同じ中学に上がる他の校区の子たちと交流する機会にもなっています。



Q. 活動が始まった頃のことを教えてください

A. 昭和34年11月3日に第1回目が開催され、60年以上の歴史があります。当時は和白校区しかありませんでした。のちに、奈多、三苫の2小学校校区ができ、それぞれに自治協議会および体育協会が発足されました。立花山登山の他にマラソン大会、卓球大会も3校区合同で行っています。第1回目からしばらくは和白中学校管区公民館主催でしたが、今は自治協議会が主催、体育協会が協力で開催しています。

Q. 今後の活動を教えてください

A. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、一昨年は中止、昨年は登山口までのウォーキングと状況に対応してきました。できれば今年は通常通りの実施を願っています。年々参加者が少なくなって来ていますが、毎年文化の日は立花山登山！と地域では定着して来ています。今後は美和台と和白東を含め5校区の行事にしてさらなる親交を深めていきたいと思います。和白・奈多・三苫の校区以外の方も参加できますので11月3日は和白公民館にお越しください。

【お問合せ】092-606-3001(和白公民館)